

再評価結果（平成25年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課

担当課長名：三浦 真紀

事業名 一般国道34号 <small>たけお</small> 武雄バイパス	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 九州地方整備局
起終点 起点：佐賀県武雄市北方町大字大崎 <small>たけお きたがたちょう おおさき</small> 終点：佐賀県武雄市武雄町武雄 <small>たけお たけおちょうたけお</small>	延長 6.3km	
事業概要 武雄バイパスは、国道34号に接続する(市)北方新橋線から国道34号と国道35号の分岐点である下西山交差点を結ぶことにより、武雄市街地の地域通過交通を排除し、交通環境改善を図る延長約6.3kmの事業である。		
S49年度事業化		S55年度都市計画決定
S55年度用地着手		S57年度工事着手
全体事業費	約210億円	事業進捗率 77%
計画交通量	13,200～23,800台/日	
費用対効果分析結果	B/C <small>(事業全体)</small> 2.3 <small>(残事業)</small> 2.7	総費用 <small>(残事業)/(事業全体)</small> 43/420億円 事業費：36/381億円 維持管理費：7.0/39億円
		総便益 <small>(残事業)/(事業全体)</small> 117/981億円 走行時間短縮便益：104/874億円 走行経費減少便益：8.4/82億円 交通事故減少便益：4.9/25億円
感度分析の結果 【事業全体】交通量：B/C=2.1～2.6（交通量±10%） 事業費：B/C=2.3～2.4（事業費±10%） 事業期間：B/C=2.3～2.3（事業期間±20%）		
【残事業】交通量：B/C=2.4～3.0（交通量±10%） 事業費：B/C=2.5～3.0（事業費±10%） 事業期間：B/C=2.6～2.9（事業期間±20%）		
事業の効果等		
①交通混雑の緩和 ・並行する国道34号の交通量の減少及び混雑度の低下		
②交通安全の向上 ・並行する国道34号及び既供用区間における交通事故件数の減少		
③沿道環境の改善 ・並行する国道34号の騒音レベルが環境基準を達成		
④地域防災の支援 ・バイパス整備による洪水時の冠水被害の防止		
⑤産業支援 ・工業団地へのアクセス性が強化され工業の更なる振興に寄与		
⑥観光支援 ・観光地へのアクセス性が向上し観光活性化に寄与		
⑥救急医療活動の支援 ・武雄市内から第二次救急医療施設（新武雄病院、副島整形外科病院）までの救急搬送を支援 ・救急医療活動のアクセス時間の短縮		
関係する地方公共団体等の意見 江北町、大町町、旧北方町（現武雄市）で構成される国道34号（江北町・大町町・北方町間）バイパス建設促進期成会（会長：大町町長）等により早期整備の要望を受けている。（平成24年2月）		
県知事の意見 事業継続については、異議ありません。 佐賀県の産業振興や県民の暮らしを支え、人やモノの交流を支えていくための基盤となる道路の整備率が全国平均に比べ低く（全国30位）、今後も道路整備を進める必要がある。 国道34号は県の東西交通の軸となる幹線道路であり、今回、再評価される武雄バイパスは、昭和61年度から平成元年度にかけ延長L=4.1km区間が暫定2車線で、平成12年度には延長L=0.8km区間が完成4車線で供用したところであるが、交通需要の増大に伴い交通渋滞が慢性化しており交通渋滞の解消や交通安全の確保を図るためにも、早期に整備を進めていただきたい。		

事業評価監視委員会の意見
審議の結果、事業継続

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・ 武雄市の人口は、横ばい傾向にあるものの自動車保有台数は増加傾向にある。
- ・ 未供用区間に並行する国道34号や暫定2車線区間においては、交通混雑（混雑度：1.1～1.7）が発生している。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成23年度末の事業進捗率は、事業費ベースで約77%であり、そのうち用地進捗率は約100%に達している。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

地元や関係機関との協力体制のもと、平成29年度の暫定2車線供用(L=1.4km)に向けて引き続き工事促進を図っていく。

施設の構造や工法の変更等

軟弱地盤対策工法の変更（大径施工による改良体本数の削減）による減【約0.3億円】

対応方針 事業継続

対応方針決定の理由

以上、事業の効果、事業評価監視委員会における審議、知事等の意見を踏まえると、事業の必要性、重要性は高いと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。